

ツチグリの人工培養技術について

福島県林業研究センター 林産資源部
平成15～18年度林業研究センター業務報告

1 部門名

林業－食用きのこ－育種・選抜
分類コード 18-16-06000000

2 担当者

青砥裕輝・古川成治・武井利之

3 要旨

県内で食用とされているツチグリの菌糸が各種の寒天平板培地、液体培地、培養土で発芽伸長することを確認し、各種培養試験から一部の栽培特性を明らかにした。

- (1) 胞子散布、子実体分離により菌糸が発芽することを明らかにした。
- (2) 5℃から40℃で培養試験を行ったところ、30℃以下の場合に菌糸の伸長が認められ、平板培地による菌糸伸長速度、液体培地による菌糸体重量増加量からツチグリの培養適温は20℃前後であることがわかった。
- (3) 液体培地での窒素態別添加試験の結果、有機窒素で菌糸体重量増加が多く、ペプトンを添加した場合に最も顕著であった。
- (4) 培地としてバーミキュライトを用いると菌糸は発芽し全面に伸長するが、山砂では発芽後表面だけの伸長にとどまった。赤玉土－バーミキュライト混合培地、日向土－バーミキュライト混合培地、山砂－バーミキュライト混合培地で試験を行った結果、山砂－バーミキュライト混合培地で菌糸の発芽伸長が認められ、それ以外の混合培地では菌糸の発芽伸長がほとんどみられなかった。

4 その他の資料等

なし